

万歳！ おっばい

「53歳にもなってる？」 「老後のためにお金は残しておいたら？」。そんな声を一切無視して、とうとう念願の豊胸手術を受けました。

若い頃は想像もしていなかった「老い」が、ものすごい勢いで私に襲いかかる毎日。生理が終わった時は私の「女」も終わったよう

女の気持ち

な寂しい気がしました。ふにやりと情けなく垂れたおっばいも妙に悲しく、老いへの抵抗というか、えもいわれぬ焦燥感というか……。その苦しさ唇をかむような気持ちでした。

実は数年前にも手術を決心したのですが、当時、彼氏の反対にあい断念していました。しかし、派遣の仕事も契約満了で区切りが付きましました。時間はたっぷりとあり

ます。よし、今だ！と……。こうして私のおっばいは美しく豊かなおっばいに再生されました。

体にメスを入れるのですから、血も出ますし、痛みも伴うのだろう……なんて心配も、更年期の憂鬱も吹っ飛びました。迫力のあるおっばいを抱いて、ドヤ顔でほくそえんでいます。

もう、皆に見せて回りたくらい美しいおっばいなのです。あく、

ホントに幸せ。男のあなたにや、分かるまい！

大阪市西淀川区

匿名 無職・53歳



投稿規定 原稿は600字前後。住所、名前、年齢、職業、連絡先の電話番号を明記し、〒530-8251（住所不要）毎日新聞気持係へ。ファクスは06・6346・8204。